

3号機 タービン機器冷却水系冷却水補給タンクの水位低下について

2011年11月8日

発生号機	3号機 定期検査中(津波対策実施中) :沸騰水型、定格電気出力 110 万キロワット
発生年月日	2011年11月8日
発生時の状況	第17回定期検査中の3号機において、タービン機器冷却水系 ^{※1} の冷却水(脱塩水 ^{※2})を補給するタンクの水位低下量が、通常は約11mm/日のところ、約39mm/日に増加(11月5日より低下量増加)していることを、本日、運転員が確認しました。 このため、原因調査を開始しました。
放射能の影響	本事象は外部への放射性物質の放出に係わる事象ではありません。
今後の対応	補給タンクの水位を引き続き監視するとともに、原因調査をおこないます。
お知らせ基準	「表2-5 タンクへの補給水量の有意な増加があったとき」に該当します。

※1 タービン機器冷却水系は、タービン機器(各種熱交換器、ポンプ、モータ)の冷却のために脱塩水を供給する系統です。

※2 脱塩水は、新野川の伏流水を脱塩処理したものであり、放射性物質を含んでいません。

以上

